

回送費	三〇三、八〇四、〇四四	三〇九、四五四、〇〇〇	二五六、二八〇、〇〇〇	二〇九、七八五、二六一
納金	四一〇、〇二六、一四二	三九九、〇六五、〇〇〇	三九九、〇六五、〇〇〇	四〇〇、五三三、八六一
回送費政府負擔額	—	五三、四七〇、〇〇〇	五三、四七〇、〇〇〇	五三、四七〇、〇〇〇
通常經費ヨリ充當スルモノ	五九五、六七〇、〇〇〇	四七五、八二八、〇〇〇	五二九、〇〇二、〇〇〇	五七九、二四七、〇〇〇
自然増収益ヨリ充當スルモノ	一、〇〇五、六九六、一四二	九二八、三六三、〇〇〇	九八一、五三七、〇〇〇	一、〇三三、二五〇、八六一
整理利益ヨリ充當スルモノ	—	—	—	—
計	—	—	—	—
回送費ニ對スル政府負擔割合	割 七六八	割 七五〇	割 七九三	割 八三一
政府負擔額増加ニ因ル鹽價低減額	百斤當 八八九	百斤當 九六、五	百斤當 九六、二	百斤當 一〇四、八
同	一斤當 九	一斤當 一、〇	一斤當 一、〇	一斤當 一、〇
同	一升當 一、八	一升當 一、七	一升當 二、一	一升當 二、三

備考

- 一 本表中整理高ヲ全部補充スルモノトシテノ計算欄ノ通常經費ヨリ充當スル回送費ハ明治四十五年度豫算ニ於ケル回送鹽百斤當ノ通常經費ヲ算出シ此ノ率ヲ以テ本欄ノ數量ニ乘シ算出セリ
- 二 本表中政府負擔額増加ニ因ル鹽價低減額ハ回送鹽數量ヲ以テ政府負擔ノ回送費中整理利益ニ因ル金額ヲ除シ算出シタルモノニシテ△印ノモノハ整理利益及自然増収額ノ合計金額ヲ除シ算出シタルモノトス

第十五章 整理費

當初ノ概算取扱費實蹟整理費

製鹽地整理ニ要スル經費ハ當初明治四十三年度ヨリ明治四十五年度ニ至ル三箇年度ノ繼續費トシテ左ノ概算要求書ヲ作成シ明治四十二年九月二十日之ヲ大藏省ニ提出シタリ

歳出臨時部

製鹽地整理費

一金百十三萬四千四百十圓

内

明治四十三年度概算額

第十五章 整理費

金百十一萬五千九百六十三圓
 交 付 金
 金一萬八千四百四十七圓
 事 務 費

說 明

前記ノ費途ハ明治四十三年度乃至明治四十五年度ノ三箇年度ニ互リ繼續費ト爲スヲ要ス其ノ總額ハ三百四十萬三千二百三十一圓ニシテ詳細ハ別記ノ如シ
 之カ支出ヲ要スル所以ハ現今内地ニ於ケル製鹽ノ實況ヲ顧ルニ微々タル產鹽地各所ニ點々散在スルモノアリ何レモ製鹽ノ規模至テ狹小生産組織又極メテ
 不完全ニシテ徒ニ過大ノ生産費ヲ要シ且各所ニ散在セルヲ以テ專賣行政上ノ不便不實ニ尠シトセス依テ右等小產地ハ其ノ製鹽ヲ禁止シ鹽業ノ集約ヲ圖
 ルハ專賣制度ノ改善上最緊切ノ要件ナリト認ムルニヨリ明治四十三年度ヨリ明治四十五年度ニ至ル三箇年度ノ繼續ニテ右製鹽地ノ整理ヲ遂行ノ見込ニ付
 製鹽禁止ニ伴フ補償トシテ製鹽業者製鹽地及製鹽設備ニ對スル交付金並整理ノ爲事務費ヲ要スルニ由ル但シ明治四十三年度概算額ハ表記ノ如シ

大藏省所管

歳出臨時部

科 目	繼續費要求額	支 出 年 額		
		四十三年度	四十四年度	四十五年度
第一款 製鹽地整理費	三、四〇三、三三二円	一、一三四、四一〇円	一、一三四、四一〇円	一、一三四、四一〇円
第一項 製鹽地整理費	三、四〇三、三三二	一、一三四、四一〇	一、一三四、四一〇	一、一三四、四一〇
第二目 交付金	三、三四七、八九〇	一、一五、九六三	一、一五、九六三	一、一五、九六四
第二目 事務費	五五、三四一	一八、四四七	一八、四四七	一八、四四七

製鹽地整理交付金見積表

年 度	整 理 高 量		整 理 資 金		整 理 利 益			
	段 別 數 量	製鹽業者ニ對スル交付金	製鹽地ニ對スル交付金	設備ニ對スル交付金	計 金	收入差益	經費減額	計 益
第一 年	六三八、三〇三三	一〇二、二二五	六六八、九五六	三四四、七八二	一、一五、九六三	一円	一	一
第二 年	六三八、三〇三三	一〇二、二二五	六六八、九五六	三四四、七八二	一、一五、九六三	一三九、六四七	六七、九八一	二〇七、六二八
第三 年	六三八、三〇三三	一〇二、二二五	六六八、九五六	三四四、七八二	一、一五、九六四	二七九、二九四	一三五、九六三	四一五、二五七
計	一、九一四、九二〇七	三〇六、六七五	二、〇〇六、八六八	一、〇三四、三四七	三、三四七、八九〇	四一八、九四二	二〇三、九四五	六二二、八八七

然レトモ右概算要求ニ對シテハ同年十月二十七日省議ヲ以テ製鹽地整理ハ明治四十三年度及同
 四十四年度ノ二箇年度ニ互リ繼續施行ノ事トシ交付金ハ國債證券ヲ以テ交付シ五十圓未滿ノ端

金ニ限り現金給付ト爲シ經費ハ專賣局既定經費ヲ以テ支辨遂行スルコトニ決定シタリ依テ國債證券ニ在リテハ其ノ發行ヲ大藏省ニ要求シ端金ハ追加豫算トシテ要求シタルコト第十三章交付金ノ章ニ於テ記述シタルカ如ク整理取扱ニ要スル經費ニ在リテハ專賣局作業會計ノ既定經費内ニテ執行スルコトトナレル爲判任官以上俸給ノ如キ特ニ整理ノ爲ニ要セシモノト否トノ區分ヲ爲シ難キモノアルモ費途ノ性質且區別シ得ヘキ所要經費ニシテ特ニ見積タル豫定額ヲ計上スルトキハ明治四十三年度分十一萬五千七百九十圓餘同四十四年度分四萬一千五百九十九圓餘合計十五萬六千八百五十圓ニシテ此ノ豫算ヲ以テ豫定ノ整理ヲ實行スルコトトナレリ而シテ其ノ實蹟ヲ見ルニ明治四十三年度ニ於テ豫算ニ比シ六萬四千三百九十九圓餘同四十四年度ニ於テ二萬八千三百五十六圓餘ヲ減シ結局豫定額ニ對シ約四割ノ節減ヲ來スヲ得タリ各年度經費豫算及實蹟左表ノ如シ

製鹽地整理所要經費豫定額表

	筆紙墨文具	通信及運搬費	給與	雇員給	備人料	旅費	計
明治四十三年度	二,七五五,七三八 円	一一,〇七三,二二〇 円	八九三,二六〇 円	六,五三一,〇〇〇 円	—	六七,四九九,三八〇 円	一一,五七九,〇九八 円
明治四十四年度	四四一,三六〇 円	一,八五九,〇四〇 円	三四一,六〇〇 円	一,八四八,〇〇〇 円	二四二,〇〇〇 円	三三,二五三,一八〇 円	四一,〇五九,五八〇 円
計	三,一九七,〇九八 円	一二,九三二,二六〇 円	一二,二三七,八六〇 円	八,三七九,〇〇〇 円	二四二,〇〇〇 円	一〇〇,七五二,五六〇 円	一五六,八五〇,五〇八 円

製鹽地整理ニ要シタル經費調査表

明治四十三年度整理		明治四十四年度整理		計				
本局	及筆紙墨文具	運通信及搬費	給與	雇員給	備人料	雜費	旅費	計
五,三八〇,二七四 円	五八七,八一〇 円	—	七三三,七七〇 円	—	二二七,四五〇 円	八八七九,九四〇 円	一五八一,九二四 円	—

支局名	筆紙文具	運通搬信費	給與	雇員給	備人料	雜費	旅費	計
東京支局	276,370	337,715	199,000	294,000	4,590	1,761,640	2,531,010	
水戸支局	985,840	48,000	308,000	746,700	1,859,970	2,558,275		
三春支局	136,260	842,000	746,700	6,042,660	8,617,200	2,432,530		
小出雲支局	653,700	105,150	284,000	1,144,400	7,265,160	9,665,260		
名古屋支局	15,160	105,150	278,000	184,960	500	2,022,800	2,597,620	
神戸支局	3,730	9,990	8,000	184,960	500	146,700	168,420	
高梁支局	176,640	20,000	1,000	481,790	208,000	384,310	404,310	
阪出支局	92,500	588,270	58,000	777,160	1,350	3,826,590	5,291,290	
撫養支局	66,480	457,470	432,000	554,660	7,000	4,713,040	6,717,230	
熊木支局	5,734,784	470,935,55	3,029,000	5,480,390	26,490	44,901,820	64,399,689	
鹿兒島支局	149,488	72,090	142,000	158,000	5,400	1,982,960	2,394,300	
本局	33,850	72,090	142,000	158,000	5,400	1,982,960	2,394,300	
味野支局	9,000	37,220	168,000	108,260	3,470	1,771,440	2,097,390	
尾道支局	30,700	104,620	136,000	106,050	28,000	3,124,880	3,530,250	
三田尻支局	33,840	92,000	365,000	86,270	9,510	2,156,630	2,712,250	
阪出支局	10,300	116,075	208,000	148,200	43,250	1,700,400	2,226,225	
撫養支局	175,980	276,630	641,000	457,890	11,790	4,985,800	6,549,090	
熊木支局	11,750	46,590	260,000	326,650	4,400	1,235,320	1,864,710	
鹿兒島支局	453,908	872,035	1,920,000	22,210,720	105,820	22,706,620	28,356,403	
計								

明治四十四年度整理

支局名	筆紙文具	運通搬信費	給與	雇員給	備人料	雜費	旅費	計
東京支局	276,370	337,715	199,000	294,000	4,590	1,761,640	2,531,010	
水戸支局	985,840	48,000	308,000	746,700	1,859,970	2,558,275		
三春支局	136,260	842,000	746,700	6,042,660	8,617,200	2,432,530		
小出雲支局	653,700	105,150	284,000	1,144,400	7,265,160	9,665,260		
名古屋支局	15,160	105,150	278,000	184,960	500	2,022,800	2,597,620	
神戸支局	3,730	9,990	8,000	184,960	500	146,700	168,420	
高梁支局	176,640	20,000	1,000	481,790	208,000	384,310	404,310	
阪出支局	92,500	588,270	58,000	777,160	1,350	3,826,590	5,291,290	
撫養支局	66,480	457,470	432,000	554,660	7,000	4,713,040	6,717,230	
熊木支局	5,734,784	470,935,55	3,029,000	5,480,390	26,490	44,901,820	64,399,689	
鹿兒島支局	149,488	72,090	142,000	158,000	5,400	1,982,960	2,394,300	
本局	33,850	72,090	142,000	158,000	5,400	1,982,960	2,394,300	
味野支局	9,000	37,220	168,000	108,260	3,470	1,771,440	2,097,390	
尾道支局	30,700	104,620	136,000	106,050	28,000	3,124,880	3,530,250	
三田尻支局	33,840	92,000	365,000	86,270	9,510	2,156,630	2,712,250	
阪出支局	10,300	116,075	208,000	148,200	43,250	1,700,400	2,226,225	
撫養支局	175,980	276,630	641,000	457,890	11,790	4,985,800	6,549,090	
熊木支局	11,750	46,590	260,000	326,650	4,400	1,235,320	1,864,710	
鹿兒島支局	453,908	872,035	1,920,000	22,210,720	105,820	22,706,620	28,356,403	
計								

兩年度整理通計

通計	六、一八八、六九二	五、五八一、三九〇	四、九四九、〇〇〇	七、六九一、二一〇	一、三三三、三〇〇	六〇五、一五〇	六七、六〇八、四四〇	九二、七五六、〇九二
----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------	------------	------------

備考

一 明治四十三年度整理中東京水戸、三春、小出雲、名古屋、阪出各支局ニ於ケル筆紙墨及文具費ハ一般ノ事務費ト區分シ難キヲ以テ計入セス
 二 筆紙墨及文具、通信運搬費ハ明治四十四年一月ヨリ明治四十五年一月マテハ實蹟ニ依リ明治四十五年二月及三月分ハ該實蹟ノ平均一箇月所要額ニ基キ其ノ二箇月分ヲ見積リ計上セリ

製鹽地整理所要經費豫定額實蹟對照表

豫定額	實蹟	比較増減	筆紙墨及文具	通信及運搬費	給與	雇員給	備人料	雜費	旅費	計
二二、一九七、〇九八	六、一八八、六九二	△一六、〇〇八、四〇六	二、一九三、二五〇	五、五八一、三九〇	二、三四七、六〇〇	八三七、〇〇〇	二四二、〇〇〇	一〇〇、七五二、五六〇	一五六、八五〇、五〇八	二、一九三、二五〇
			四、九四九、〇〇〇	七、三九〇、八六〇	七、六九一、二一〇	六八七、八九〇	一〇九、六九〇	六〇五、一五〇	六三三、一四四、二二〇	九二、七五六、〇九二

製鹽禁止後ニ於ケル土地利用等ノ調査ニ關シ土木、農業又ハ水産ニ經驗アル専門家ノ意見ヲ參酌スル爲調査ヲ囑託シタル者ニ對スル謝金トシテ明治四十三年度分ニ在リテハ囑託員三十人ニ對シ二十圓乃至百圓宛合計金千九百五十五圓ヲ明治四十四年度分ニ在リテハ囑託員二十一人ニ對シ三十圓乃至百圓宛合計金千二百四十五圓ヲ支出シタルヲ以テ其ノ金額ハ前記經費中給與ノ目ニ計入シタリ

右ニ依リ整理費ヲ通算スルトキハ交付金ハ法定制限額三百二十萬圓ニ對シ五十一萬七千七百四十三圓七十九錢ヲ減額スルニ至リタルモ取扱經費ニ於テ當初ノ概算見積額五萬五千三百四十一圓ニ對比シ三萬七千四百十五圓九錢二厘ヲ増加シタリ然レトモ最初ノ概算調査後ニ於テ調査及監督ノ計畫ヲ更メタル爲旅費其ノ他廳費ノ増加ヲ要スルニ至リタルト旅費額ノ改正等ニ原因スルモノニシテ其ノ後各年度ニ於テ見積タル豫定額ニ比シ減少ヲ來シタルハ主トシテ協議、鑑定等ニ事故ヲ來セルモノ稀ニシテ平靜ニ整理ヲ了スルヲ得タルニ因ル交付金及取扱經費ヲ合算スル

トキハ整理費實蹟左ノ如シ

製鹽地整理費調査表

	明治四十三年度	明治四十四年度	計
國債證券	一、一五六、九〇〇、〇〇〇 ^円	一、二七七、四五〇、〇〇〇 ^円	二、四三四、三五〇、〇〇〇 ^円
交付金	二〇七、七〇二、三二〇	四〇〇、二〇三、八九〇	二四七、九〇六、二一〇
取扱	一、三六四、六〇二、三二〇	一、三一七、六五三、八九〇	二、六八二、二五六、二一〇
計	六四、三九九、六八九	二八、三五六、四〇三	九二、七五六、〇九二
取扱	一、四二九、〇〇二、〇〇九	一、三四六、〇一〇、二九三	二、七七五、〇一二、三〇二
計			

第十六章 整理後ノ處分

第一節 製鹽禁止後ニ於ケル鹽及鹹水ノ處分

明治四十三年五月製鹽禁止區域ノ告示ニ依リ同年九月三十日限製鹽ヲ禁止セララルルニ至リタルヲ以テ其ノ禁止地ニ在リテハ其ノ禁止期日ノ切迫スルヤ最後ノ製鹽トシテ全力ヲ舉テ製鹽ヲ爲スノ傾向アリシノミナラス輒モスレハ告示ノ精神ヲ誤解シ九月三十日限禁止セラレタルハ唯採鹹ノミニシテ煎熬ハ省令第十九條ニ依リ承認ヲ受クルトキハ當然右期日以後ト雖從事シ得ヘシトノ見解ヲ持スル者アルニ至レルヲ以テ法令ノ精神ヲ闡明シ是等ノ誤解ヲ防止スルノ目的ヲ以テ關係支局長ニ左ノ通牒ヲ發シタリ

甲第一九二五號收納部長依命通牒 專賣支局長宛 (明治四十三年八月八日)

本年ニ於ケル鹽又ハ鹹水ノ製造禁止期日ハ九月三十日限ニ候處輒モスレハ右期日迄ニハ採鹹ヲ禁止スルモノニシテ煎熬ハ省令第十九條ニ依リ期日後ト雖當然從事シ得ヘキモノト誤解セル向有之趣右ハ全ク法令ノ精神ヲ謬レルモノニシテ禁止期日後ニ於ケル煎熬ノ認可ハ事實不得止場合ニ限ルヘキ趣旨ニ有之候間禁止期日內ニ煎熬ヲ了シ得ラレサル鹹水ヲ採取スルカ如キコト無カラシムル様篤ト當業者ヘモ周知セシメラレ度尙追々禁止期日モ近ツキ候事ニ付